

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年4月22日(2025.4.22)

【公開番号】特開2024-112167(P2024-112167A)

【公開日】令和6年8月20日(2024.8.20)

【年通号数】公開公報(特許)2024-155

【出願番号】特願2023-17054(P2023-17054)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 605 D

A 63 F 5/04 691 B

A 63 F 5/04 605 B

A 63 F 5/04 611 B

【手続補正書】

【提出日】令和7年4月14日(2025.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

主制御手段を有し、

遊技媒体数制御手段を有し、

遊技履歴を表示可能な所定の表示装置を有し、

遊技媒体数制御手段は、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とし、

遊技媒体数制御手段のRWM領域には、第1RWM領域と第2RWM領域とを有し、

遊技媒体数制御手段の第1RWM領域に第1の情報を記憶可能とし、

遊技媒体数制御手段の第2RWM領域に第2の情報を記憶可能とし、

第1の情報は、所定の遊技履歴に関する情報であり、

第2の情報は、所定の遊技履歴に関する情報であり、

第1の情報は、貸出しユニットに送信するための情報であり、

第2の情報は、所定の表示装置に表示するための情報であり、

総遊技回数が所定値未満である場合は、第1の情報は特定値であり、

遊技機の電源がオンとなり、貸出しユニットとの接続時間が所定時間経過した後に、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信可能とし、

遊技機の電源がオンとなり、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信する前でも、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とする

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明は、

40

50

主制御手段（主制御 C P U 5 1 0 ）を有し、
遊技媒体数制御手段（メダル数制御 C P U 5 2 0 ）を有し、
遊技履歴（たとえば累計役物比率）を表示可能な所定の表示装置（役比モニタ 1 1 3 ）を有し、
遊技媒体数制御手段は、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とし、
遊技媒体数制御手段の R W M 領域には、第 1 R W M 領域（遊技機性能情報送信用記憶領域（図 9 0 ））と第 2 R W M 領域（役比モニタ情報算出・表示用記憶領域（図 7 9 ））とを有し、
遊技媒体数制御手段の第 1 R W M 領域に第 1 の情報（遊技機性能情報として送信するたとえば累計役物比率）を記憶可能とし、
遊技媒体数制御手段の第 2 R W M 領域に第 2 の情報（役比モニタ情報を表示するためのたとえば累計役物比率）を記憶可能とし、
第 1 の情報は、所定の遊技履歴（たとえば累計役物比率）に関する情報であり、
第 2 の情報は、所定の遊技履歴（たとえば累計役物比率）に関する情報であり、
第 1 の情報は、貸出しユニット（2 0 0 ）に送信するための情報であり、
第 2 の情報は、所定の表示装置に表示するための情報であり、
総遊技回数が所定値（1 7 5 0 0 ）未満である場合は、第 1 の情報は特定値（F F h ）であり、
遊技機の電源がオンとなり、貸出しユニットとの接続時間が所定時間（「1 0 0 , m s ）
経過した後に、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信可能とし、
遊技機の電源がオンとなり、遊技機情報通知を貸出しユニットに送信する前でも、所定の表示装置の点灯制御を実行可能とする（図 9 3 ）
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50